

福岡正信 自然農園

農園だより 2024 春号

瀬戸内海に面し、里山が広がる温暖な愛媛県伊予市。
自然農法の提唱者・福岡正信から三世代にわたり
「自然農法」で、小さな農園を営んでいます。
みなさまに、作物のこと、日々のこと、
なりわいへの想いをお届けします。

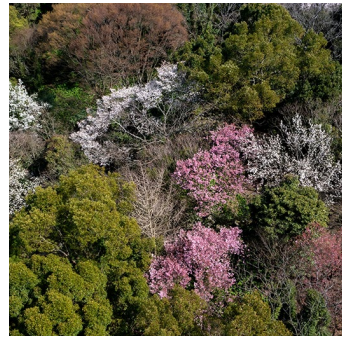


私たちの農園にも 少しずつ春の便りが届いています。

暖かい日も増え、穏やかな空気に包まれて植物たちは競い合うように背を伸ばし、寒い冬から息を吹き返したかのように成長しています。

やがて農園の山もソメイヨシノやヤマザクラが咲き誇り桜色に染まります。今年も束の間の風情を楽しむ、お花見の季節がやってきますね。

桜の花が散り始める頃の樹々が芽吹く様子もまた、それぞれの風情があり見応えある風景です。柔らかな若緑色の葉が徐々に色濃く変化していくさまは、一緒に私たちも成長している気持ちになります。



この時期は、道端や畑にも小さくてかわいい花や植物がたくさん咲いています。

“畑に植物や花の色合いがある風景”は、現代ではあまり見られないのではないのでしょうか。

現在の農業は収穫時期を過ぎた野菜などはすぐに片づけ整備され、次の種まきや苗が植え付けられます。

出来る限り自然のままに寄り添う当園ならではの光景かもしれません。

花が咲き受粉し実り、種が残る。それを人が採取しまた繋ぐという営みは、とても時間がかかりますが、私たちは豊かな時間だと思っています。

そんな時を過ごししながら、5月頃までは当園の代名詞とも言える甘夏の収穫をはじめまだまだ忙しい日々が続きます。今季は大きな気象の影響を受けずに、甘みが高く濃い味わいの柑橘になりました。

その年ごとに違った表情を見せる生き物と対話しながら、毎日に感謝し過ごします。

